

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業	2	8. ファミリー・サポート・センター事業	
		(1) ファミリー・サポート・センター事業	26
2. 地域福祉事業		(2) 子育てホームヘルプ事業	29
(1) 地域福祉活動推進事業	6	9. 居宅介護支援事業	30
(2) 福祉啓発事業	8	10. 訪問介護事業	
(3) 相談事業	9	(1) 訪問介護事業	33
(4) 福祉バス管理運営事業	9	(2) 生活支援訪問事業	33
(5) ボランティア活動推進事業	10	(3) その他訪問事業	34
(6) 団体助成事業	10	11. 障害福祉サービス事業	
(7) 認知症サポーター養成講座事業	10	(1) 障害福祉サービス事業（居宅介護）	35
(8) 障害児長期休暇中預り事業	11	(2) 障害福祉サービス事業（行動援護）	35
(9) 自発的活動支援事業	12	12. 移動支援事業	36
(10) 生活支援体制整備事業	12	13. 高齢者デイサービスセンター事業	36
3. 共同募金配分事業		14. 生活支援通所事業	37
(1) 福祉まつり開催事業	14	15. 高齢者生活福祉センター事業	37
(2) 福祉教育推進事業	14	16. その他事業	
(3) 地域活動支援事業	16	(1) 老人クラブ連合会	37
(4) サロン活動推進事業	16	(2) 共同募金事業	39
(5) 広報啓発事業	18	(3) 子育てボランティアみみちゃん	41
(6) 社会福祉大会開催事業	18	(4) フードバンク事業	42
(7) 安心安全推進事業	19	(5) 職員の資質向上	42
(8) まるみプラン推進事業	20		
(9) 地域我が事・丸ごと推進事業	22		
4. 生活福祉資金貸付事業	23		
5. 福祉サービス利用援助事業	23		
6. 法人成年後見等事業	25		
7. 生計困難者に対する相談支援事業	26		

事業報告の概要

令和元年度は、第3期まるみプランの基本理念に掲げた『くらし・こころ・みらい「豊かなまちづくり」』の推進を行いました。

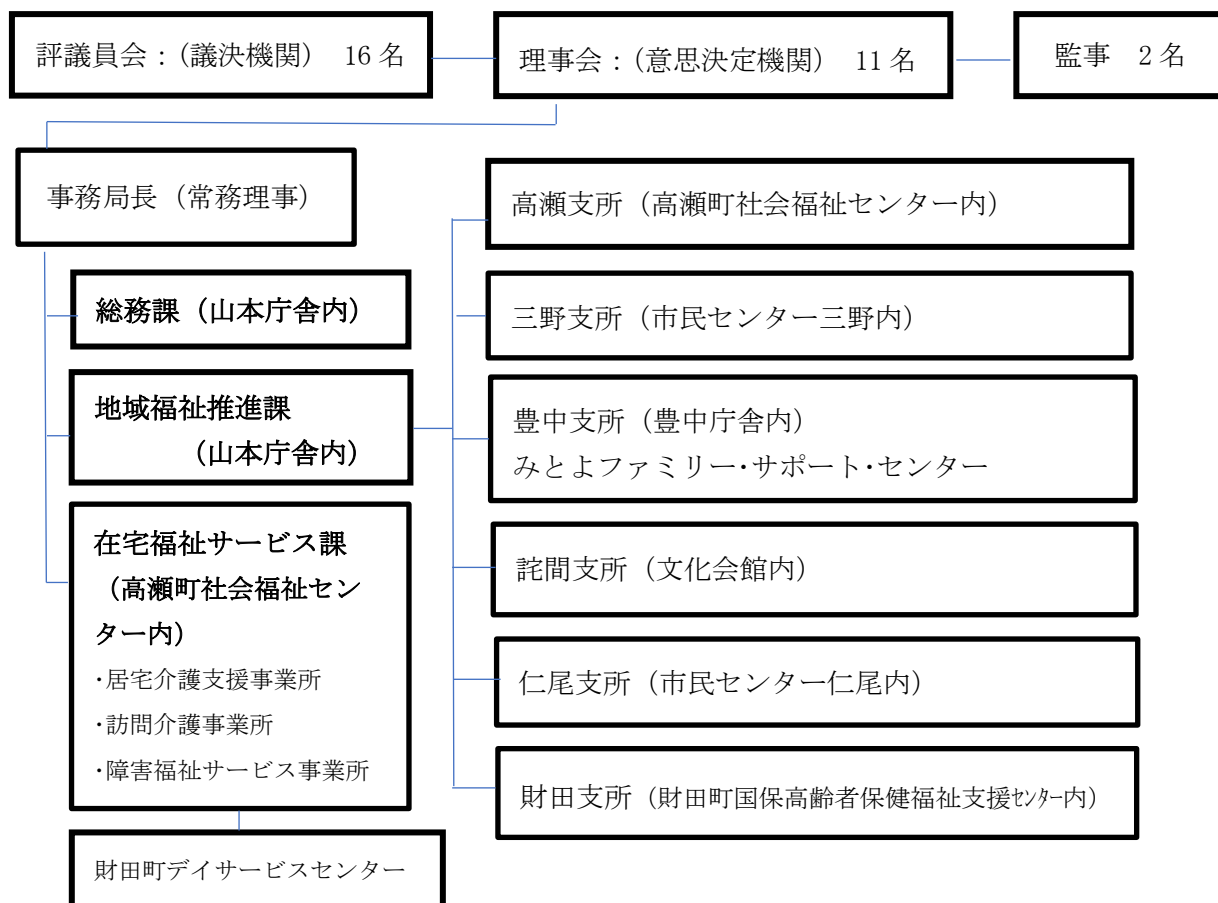
新たに取り組んだ「地域我が事・丸ごと推進事業」においては、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人や資源が世代を超えて丸ごとつながり地域を共に創りあげるための一助として、共同募金配分金の助成を行い、身近な地域を中心とした“地域共生社会の実現”に努めました。

また、日々の暮らしの中で、困ったことがあれば、三豊市社会福祉協議会に相談すると「何とかしてくれる。」「何とかなったわ。」と、市民から頼れる存在となるよう、地区社協、民生委員・児童委員、行政をはじめ、社会福祉施設、ボランティア団体、NPO法人など様々な団体・組織と連携しながら、共に助け合い、共に支えることで暮らしやすい地域になるよう事業に取り組みました。

以下、令和元年度の具体的な事業実績等について報告します。

組織図・職員状況等

(令和2年3月31日現在)



【職員体系】 ※常勤職員数

事務系	・事務局長（嘱託） 1	・正職員 15	・有期雇用職員 12	・嘱託 1	
介護系	・正職員 12	・有期雇用職員 6	・嘱託 3		合計 50 名

1. 法人運営事業 事業費 107,467,301円

① 理事会・評議員会等の開催

【理事会】

開催日	議事等
第 61 回 令和元年 6 月 4 日 出席 理事 8 名 監事 2 名 欠席 理事 3 名	報告第 1 号 会長専決事項について 議案第 1 号 平成 30 年度事業報告について 議案第 2 号 平成 30 年度収支決算について 議案第 3 号 非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正について 議案第 4 号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第 5 号 評議員選任候補者の推薦について 議案第 6 号 次期役員（理事・監事）候補者の選定について 議案第 7 号 第 51 回評議員会（定時評議員会）の招集について
第 62 回 6 月 20 日 出席 理事 10 名 監事 2 名 欠席 理事 1 名	議案第 1 号 会長、副会長、常務理事の選定について
第 63 回 9 月 11 日 出席 理事 9 名 監事 2 名 欠席 理事 2 名	報告第 1 号 第三者委員の委嘱について 報告第 2 号 会長専決事項について 報告第 3 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和元年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 諸規程の制定について 議案第 4 号 定款の一部変更について 議案第 5 号 第 52 回評議員会の招集について
第 64 回 12 月 4 日 出席 理事 7 名 監事 2 名 欠席 理事 4 名	報告第 1 号 会長専決事項について 議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和元年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 第 53 回評議員会の招集について
第 65 回 令和 2 年 3 月 17 日 出席 理事 9 名 監事 2 名 欠席 理事 1 名	報告第 1 号 会長専決事項について 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 令和元年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 2 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 2 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の一部改正について 議案第 6 号 評議員選任候補者の推薦について 議案第 7 号 第 54 回評議員会の招集について 追加議案第 1 号 事務局長の選任について

【評議員会】

開催日	議事等
第 51 回 令和元年 6 月 20 日 出席 評議員 13 名 欠席 評議員 2 名	議案第 1 号 平成 30 年度事業報告について 議案第 2 号 平成 30 年度収支決算について 議案第 3 号 非定型的パートタイムヘルパー就業規則の一部改正について 議案第 4 号 次期役員（理事・監事）の選任について
第 52 回 9 月 26 日 出席 評議員 11 名 欠席 評議員 4 名	議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和元年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 諸規程の制定について 議案第 4 号 定款の一部変更について
第 53 回 12 月 17 日 出席 評議員 14 名 欠席 評議員 1 名	議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和元年度第 2 次資金収支補正予算について
第 54 回 令和 2 年 3 月 25 日 評議員 16 名 書面による同意	報告第 1 号 事務局長の選任について 議案第 1 号 令和元年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 2 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 2 年度資金収支予算について 議案第 5 号 役員（理事）の選任について

【監事会】

開催日	議事等
令和元年 5 月 22 日 出席 会長 監事 2 名	平成 30 年度事業報告について 平成 30 年度収支決算について

【評議員選任・解任委員会】

開催日	議事等
第 5 回 令和元年 6 月 4 日 出席 委員 4 名	評議員の選任について
第 6 回 令和 2 年 3 月 17 日 出席 委員 4 名	評議員の選任について

② 役職員等研修会

役職員等が、本会は具体的に「どのような地域を目指しているのか」また、そのために「事業・活動等をどのように進めていくのか」、といった組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、これらの共通理解をもって日々の業務・実践にあたることが重要であることから、県社協等が開催する研修会等に参加した。

開催日	内容等
令和元年 7 月 27 日～28 日 参加 会長	令和元年度「第 17 回四国地域福祉実践セミナー in 徳島市」

8月8日～9日 参加 常務理事外1名	2019年度第8回県内社協常務理事・事務局長セミナー (高松市)
10月11日 参加 会長、監事 常務理事	社会福祉協議会役員等研修会(高松市) (地域包括ケアシステム構築に向けた研修会)
10月31日 参加 会長外12名	第66回香川県社会福祉大会(高松市) 表彰(本会関係) 社協・施設・団体役職員功労者 1名 社会福祉事業奉仕者 4名 優良社協 3地区社協
11月18日～19日 参加 常務理事外4名	令和元年度四国ブロック市町村社会福祉協議会研究協議会 (高松市)

③ 職員研修

開催日	内容等	講師	参加人数
令和元年10月23日	交通事故の傾向と事故低減に向けた取り組み等	あいおいニッセイ 同和損保(株)	18人
10月25日			22人

④ 自主財源の確保

(ア) 会員の募集

市内全域及び地区の福祉活動の推進のため、会費の納入について協力を自治会長等にお願した。

- ・一般会費(一口 500円)
令和元年度 17,605戸 8,802,500円
(平成30年度 17,751戸 8,875,500円)
- ・賛助会費(2,000円以上)
令和元年度 22件 151,000円
(平成30年度 12件 83,000円)

<令和元年度内訳>

地区	一般会費(一口 500円)		賛助会費(2,000円以上)	
	戸数(戸)	実績額(円)	会員数(件)	実績額(円)
高 瀬	3,973	1,986,500	1	2,000
山 本	1,830	915,000	5	21,000
三 野	2,434	1,217,000	3	22,000
豊 中	2,776	1,388,000	2	20,000
詫 間	3,872	1,936,000	5	45,000
仁 尾	1,650	825,000	3	22,000
財 田	1,070	535,000	1	2,000
市 外	0	0	2	17,000
合 計	17,605	8,802,500	22	151,000

※令和元年度一般会費と賛助会費合計 8,953,500円

(イ) 社会福祉事業への香典返し等（寄附金・物品寄附）

＜令和元年度内訳＞

※（ ）内は前年度

寄附の内容	件数	金額（円）
寄 附 金	41 (46)	2,733,011 (3,176,778)
物品寄附（車イス）	2 (2)	100,000 (120,000)
合 計	43 (48)	2,833,011 (3,296,778)

※寄附金については、寄附者の意に沿うように「地区社協」に対し活動助成を行う等、地域福祉のために活用させていただいた。

⑤ 地区社協への助成

地区社協の地域福祉活動に対し助成金の交付を行った。

＜各地区社協の状況＞

24 地区社協

令和元年度助成金総額 6,205,000 円

地区名	地区社協名	設立年月	主な活動内容
高 瀬	勝間	S53.4	元気会、男性クッキング、高齢者訪問、施設慰問
	上高瀬	S46.4	元気会、高齢者訪問、男性クッキング、福祉用器具設置
	二ノ宮	S53.4	元気会、高齢者訪問、幼稚園児との交流、福祉用器具設置
	比地二	S53.4	元気会、高齢者訪問、男性クッキング、福祉用器具設置
	麻	S47.4	元気会、男性クッキング 高齢者訪問、子供会幼稚園児との交流
山 本	辻	H19.3	子育てサロン、ぼだい山登山、防災研修、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	河内	H19.3	ふれあい交流活動、健康ウォーキング、料理教室、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	財田大野	H19.3	三世代交流活動、男性料理教室、サロン交流会、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	神田	H19.3	神田の歴史・文化をたずねて、立石山登山、男性料理講習、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
三 野	下高瀬	H18.4	子ども、高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
	吉津	H18.4	子ども、高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
	大見	H18.4	子ども、高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動他
豊 中	桑山	H17.12	お年寄り花見会、高齢者在宅訪問、施設訪問、芋炊きウォーキング等
	比地大	H17.8	安全パトロール、一人暮らし高齢者等への給食サービス・訪問交流、児童と高齢者の交流、サロン支援、芋炊きウォーキング等
	笠田	H18.2	とよなか荘慰問、健康講演会、一人暮らし高齢者訪

			間、芋炊きウォーキング等
	上高野	H18.5	配食サービス、福祉推進月例会、救命救急講習会、芋炊きウォーキング等
	本山	H17.8	福祉運動会、友愛訪問、高齢者訪問、芋炊きウォーキング等
詫 間	松崎	H21.1	見守り活動、松崎史蹟めぐり、健康ウォーキング、ふれあい会食、サロン支援、たくま健康福祉まつり協力、防災講演会共催等
	詫間	S42.3	敬老会、研修会、たくま健康福祉まつり協力、防災講演会共催等
	大浜	S42.3	敬老会、大浜地区体育祭協力、たくま健康福祉まつり協力、防災フェスタ協力、防災講演会共催等
	箱浦	H21.4	敬老会、箱浦地区内海浜清掃活動協力、たくま健康福祉まつり協力、防災講演会共催等
	栗島・志々島	S42.3	敬老会、防災フェスタ協力、たくま健康福祉まつり協力、西浜海浜清掃、防災講演会共催等
仁 尾	仁尾	H18.6	地域の清掃活動 防災訓練、敬老会、福祉ポスター、見守り
財 田	財田	H18.11	高齢者への配食サービス（おはぎ、弁当） 高齢者へ年賀状（小学生に依頼）

2. 地域福祉事業 事業費 9,814,849円

（1）地域福祉活動推進事業 事業費 2,137,463円

① 福祉協力員の設置支援

小地域福祉活動の活性化や援助活動等の担い手である福祉協力員等を設置している地区社協に対し、要綱に基づき助成金を交付。令和元年度は、高瀬・三野・豊中の9地区社協から申請があり助成金を交付した。

<助成状況>

地区名（設置地区社協）	人数(人)	助成額（円）	活動内容
高瀬地区			
麻地区社協	6	12,000	地域の見守り 元気会やサロンの補助等
二ノ宮地区社協	7	14,000	
上高瀬地区社協	12	24,000	
勝間地区社協	11	22,000	
比地二地区社協	6	12,000	
三野地区			
大見地区社協	7	14,000	地域の見守り サロンの補助等
吉津地区社協	5	10,000	
下高瀬地区社協	5	10,000	

豊中地区 上高野地区社協	45	90,000	地域の見守り サロン補助等
計	104	208,000	

② こんにちはコール

一人暮らし高齢者等に、電話訪問員（ボランティア）が電話を通じて話を聴くことで、安否の確認と孤独感の緩和を図るとともに、民生委員・児童委員等と連携をとりながら見守り活動の充実を図ることを目的に実施した。

○実施内容

月2回（第2・4水曜）ボランティアゆうゆうの会により本所（山本）にて実施

月2回（第1・3水曜）くらしの相談時、民生委員・児童委員により財田にて実施

○令和元年度利用者数 ゆうゆうの会 13人、財田地区 6人 計 19人

③ 緊急医療情報キット（まるみちゃん安心キット）の設置

緊急医療情報キットの設置は、主に一人暮らし高齢者や高齢者世帯、障害者などを対象に、緊急時に迅速な救急活動を円滑に行なうため、かかりつけの病院・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した書類を容器（キット）に入れて保管しておき、緊急時に役立てることを目的に実施した。

民生委員・児童委員の協力で新たに必要とする方への設置につながり、併せて年1回（年度始め）の更新も行った。また、消防署より年度内の安心キット活用事例について情報提供を頂いた。

＜キット設置状況＞

地区		高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	計
区分	①	3	3	4	2	30	13	2	57
	②	0	0	0	1	11	1	1	14
	③	0	0	0	0	0	0	1	1
	④	1	0	0	0	0	0	0	1
	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0
年度内設置計		4	3	4	3	41	14	4	73
年度末設置世帯		145	44	96	71	215	82	36	689
年度末利用人数		154	47	151	77	260	93	41	823

【区分】

- ① 65歳以上の者の一人暮らし世帯
- ② 65歳以上の者のみで構成されている世帯（高齢者世帯）
- ③ 65歳以上の者が含まれる世帯（高齢者同居世帯）
- ④ 障害者の一人暮らし世帯
- ⑤ その他

④ 福祉器具貸出

車イス：年度末現在 92台所有

（内、市民への貸出可能台数 66台、施設等常設 18台、デイサービス専用 8台）

＜車イス貸出件数＞

高瀬地区	32	詫間地区	13
------	----	------	----

山本地区	26	仁尾地区	21
三野地区	12	財田地区	19
豊中地区	33	合計	156

・その他、高齢者疑似体験セット、ハンドベル等の貸出を実施した。

⑤ チャイルドシート・ジュニアシート貸出

乳幼児の保護者等に、チャイルドシート等を貸出することにより、乳幼児の健全な成長を支援するとともに、子育て中の保護者等（里帰り・帰省時）に係る経済的な負担や、地域における乳幼児交通事故防止、交通事故被害者の軽減を図ることを目的に貸し出しをした。有効に活用され、貸出数は、増加傾向（前年度より 15 件増）となった。

<月別貸出件数>

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
5	4	3	5	7	3	7	6	5	4	1	5	55

⑥ 実習生受入事業

令和元年度は、社会福祉士養成校からの実習生受入の依頼がなかったが、今後も受け入れできる体制を整えていく。

(2) 福祉啓発事業 事業費 293,683 円

① 福祉作文

社会福祉の啓発・向上のために、三豊市内の小・中学校の児童・生徒が、福祉の大切さを自覚し、心豊かな人になることを願って福祉作文を募集した。

入賞作品は、三豊市社会福祉大会で表彰し、最優秀作品を披露した。

また、10 周年記念最優秀作品集を作成し、福祉の啓発に繋がるよう市内の小・中学校・図書館等へ配布した。

<小学生の部>

(人)

総応募数	311	最優秀	1
出点数	36	優秀	4
		入選	14

<中学生の部>

(人)

総応募数	290	最優秀	1
出点数	21	優秀	2
		入選	7

② ファミリー写真コンテスト

ファミリー写真コンテストへの参加を通じて、保護者や家族等が子どもとの絆を深めるきっかけ作りを行なった。また、地域の若い世代に社協の存在・活動への関心を深めることに努めた。

30 件の応募があり、みとよ福祉まつりにて展示し、優秀作品に対して本会会長表彰を行った。

開催日	開催場所	応募数	内訳(人)
令和元年 9 月 14 日		30	最優秀賞 1

	市民交流センター 豊中町農村環境センター		優 秀 賞 2 入 選 17 佳 作 10
--	-------------------------	--	-----------------------------

(3) 相談事業 事業費 1,631,848円

地域住民の生活課題の解決に向け、日常生活に関する悩みや問題に対する「くらしの相談」及び法律に関する「法律相談」を開催した。

① くらしの相談

生活課題を早期発見することを目的として、民生委員・児童委員が地域住民の相談に応じた。また、必要に応じて各支援機関や専門員と連絡を図った。

＜相談状況等＞ 相談：各支所毎月2回(第1・3水曜日)開催

地区	相談件数	順位	相談内容
高瀬	5	1	苦情(土地の境界等隣人関係等)
山本	2	2	家族・職業・生業
三野	7	3	生計・住宅・結婚・離婚・健康・保健衛生
豊中	4	4	人権・法律・財産・事故・教育・青少年 障害児(者)福祉・日常生活自立支援
詫間	9		
仁尾	9		
財田	1		
計	37		

② 法律相談

地域住民が日常生活における問題・紛争等の解決に、法律の知識を要するものについて、香川弁護士会と連携し、弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けた。

＜相談状況等＞ 相談：毎月3回(第1・2・3火曜日)開催

※高瀬は毎月、その他の支所は3ヵ月に1回

地区	相談件数	順位	相談内容
高瀬	57	1	財産(相続・遺言)
山本	18	2	家族
三野	14	3	人権・法律
豊中	18	4	結婚・離婚
詫間	19	5	住宅(日照権)
仁尾	16	6	生計
財田	15	7	職業・生業
計	157	8	事故

(4) 福祉バス管理運営事業 事業費 1,670,109円

地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とする事業の実施及び社会福祉活動への住民参加に係る援助を目的に福祉バスを運行した。

＜月別運行状況＞

年度末 利用登録団体：109 団体

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延利用者数	178	108	151	82	14	151	232	290	107	45	22	13	1,393
運行回数	8	6	7	4	1	8	12	16	5	2	1	1	71

★福祉バス（平成 17 年 1 月登録：乗車定員 25 人）

（５）ボランティア活動推進事業 事業費 81,610 円

ホームページを活用し、ボランティアの募集を広く周知し、イベント等のニーズに対するマッチングを行ったほか、本年度は傾聴ボランティアの養成を目的に、県社協と合同でボランティア講座を開催した。受講者のうち 2 人が、今後の活動につなげていくためにボランティアセンターに登録を行った。

＜ボランティア活動保険加入状況＞

※（ ）内は前年度末

保険の種類	加入団体数・件数	加入人数
ボランティア活動保険	92 団体 (95)	2,049 (2,110)
	個人加入	20 (42)
行事用保険	36 件 (42)	5,779 (5,776)

＜ボランティア養成講座実施状況＞

開催日・開催場所	内容	参加人数
令和元年 6 月 27 日 三豊市役所豊中庁舎	「傾聴ボランティア養成講座」 1 回目	17
7 月 3 日 三豊市役所豊中庁舎	「傾聴ボランティア養成講座」 2 回目	17

（６）団体助成事業 事業費 134,000 円

小さな親切運動高瀬支部・山本支部に助成を行い、子どもたちの健全育成、あいさつ運動、環境美化活動等に活用された。

（７）認知症サポーター養成講座事業（三豊市受託事業）事業費 54,000 円

地域で認知症についての正しい理解や接し方について知識を深めてもらうための取り組みとして、認知症サポーター養成講座事業を市の委託を受け 14 回開催した。

＜養成講座＞

開催日	受講先	受講人数（サポーター数）
令和元年 5 月 11 日	松崎地区第一分館女性セミナー	15
6 月 13 日	四国労働金庫観音寺支店	10
7 月 3 日	山本小学校 5 年 1 組	27
7 月 3 日	山本小学校 5 年 2 組	27
7 月 18 日	松崎地区社協見守り協力員	12
9 月 26 日	三豊市在住の方	12

10月17日	麻小学校6年生	33
12月2日	財田小学校5年生	41
12月9日	財田小学校6年生	25
令和2年1月30日	比地小学校6年生	29
1月31日	本山小学校5年生	21
2月3日	比地大小学校5年生	19
2月4日	勝間小学校5年生	24
2月7日	下高瀬小学校6年生	32
2月17日	笠田小学校6年生	26
・企業等：1回 ・団体、グループ：3回 ・小学校：11回（9校）		合計 353

小学校では、地域のキャラバンメイトも参加し、児童がそれぞれ認知症に係る寸劇をした。市主催のキャラバンメイトの会に参加し、昨年作成したパネルを用いた講座（キッズ用）を説明し、検証を図るなど、認知症を地域で支えるための意見交換等を行った。県主催のキャラバンメイト養成講座は、本会から3人の職員が受講した。

（８）障害児長期休暇中預り事業（三豊市受託事業） 事業費 533,862円

三観地域自立支援協議会や地域のボランティア等の協力を得て、夏休み期間中、障害児の預りサービス（通称：みとよきらっと☆くらぶ）を開催した。今年度より、障害児の兄弟姉妹の利用を可能としたことから、延べ6人の利用があった。

＜開催状況＞ 開催場所：山本町老人ふれあいプラザ

開催日	障害児(人)	兄弟姉妹(人)	支援者・協力者(人)
令和 元年 7月26日	8	1	15.5
7月29日	8	0	13.0
7月30日	9	1	13.5
7月31日	10	1	18.0
8月1日	9	0	20.0
8月2日	9	1	19.5
8月5日	9	0	16.5
8月6日	10	2	20.0
合 計	72	6	136

（半日は0.5人でカウント）

ほかに、前日準備を含む期間中、2名の期間雇用者が業務にあたった。

※利用料：500円/日 預かり時間：9時30分～15時30分

＜活動状況等＞

日中活動として、毎日のプール遊びの他、腹話術鑑賞や、読み聞かせ・音楽ボランティアの協力による催しを行った。また、今年度初の試みで手品ボランティアによる催しを取り入れ、子どもだけでなく、参加ボランティアも一緒に楽しむことができた。

＜利用者アンケートより：抜粋＞

- ・家庭とは違った新鮮さがあり、毎年楽しく利用しています。
- ・家族もリフレッシュでき、助かりました。
- ・多くのボランティアやスタッフがいて心強いです。
- ・たくさんの方とふれあうことができ、良い思い出になりました。

(9) 自発的活動支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 8,250円

障害者(児)が自立した生活を営むことができるよう、障害者(児)やその家族、地域住民等による地域における自発的な取り組みを支援し、共生社会の実現を図ることを目的に開催した。

また、この研修会は、ボランティア養成をはじめ、障害児長期休暇中預り事業(みとよきらっと☆くらぶ)に参加したボランティアに対するフォローアップ研修も兼ねている。今後、地域での障害者(児)支援を充実させていくためにも、関係機関や地域のボランティアが集い、共に学び合う機会にもなっているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

開催日・開催場所	テーマ・講師	参加人数
令和2年3月4日 三豊市市民交流センター	テーマ：「障害者が住み慣れた地域で暮らせるために必要なこと」 講師：特定非営利活動法人 三観まちづくりカンパニー『Hata くらす』所長 大西 潤 氏	中止

(10) 生活支援体制整備事業 (三豊市受託事業) 事業費 3,270,024円

介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施のため、高齢者の困りごとを解決していくことや、子ども、障がい者も含め福祉制度の分野にかかわらず支援を必要とする全ての住民がより暮らしやすい地域の支え合いのしくみづくりを推進していくことを目的に、今年度より実施した。また、この事業について職員間で共通認識を持つため、定期的に地区担当職員(第2層生活支援コーディネーター)間で協議を重ね、三豊市包括支援センターと共同で職員向けの勉強会を開催した。

① 資源開発

地域で活躍する担い手の養成のために、介護予防ボランティア養成講座やフォローアップ講座を実施し、学習・社会参加の機会を設けた。

<介護予防ボランティア養成講座>

・受講修了人数 14人

開催日・開催場所	内 容
令和元年10月23日 10月24日 10月30日 10月31日 みとよ未来創造館	・三豊市における高齢者の現状と介護保険制度 ・ボランティアの意義と魅力 ・高齢者の口腔ケア ・認知症の理解(認知症サポーター養成講座) ・みとよ元気体操をしよう ・高齢者における緊急時の対応 ・傾聴・グリーフケアについて ・高齢者における音楽療法 ・定年後の生きがいづくり ・社会福祉協議会の活動について

<介護予防ボランティアフォローアップ講座>

開催日・開催場所	内 容	受講人数
----------	-----	------

令和2年2月10日 三豊市市民交流センター	テーマ：「バリデーション～ 認知症の方とのコミュニケーション方法」 講師：公認バリデーション協会 バリデーションティーチャー 玉置 裕美 氏	33
--------------------------	---	----

② ネットワークづくり

地域社会のあり方に関心を持つ各地域の住民等による情報共有・話し合いの体制づくりを進めた。

＜三野地区・豊中地区・詫間地区合同 人と人がつながる地域づくり勉強会＞

開催日・開催場所	内 容	参加人数
令和2年1月27日 みとよ未来創造館	テーマ：「目指す地域像の実現に向けた地域の基盤づくり ～地域におけるそれぞれの役割」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団ふれあい推進事業 新地域支援事業担当リーダー 社会福祉士 長瀬 純治 氏	32

3地区合同の地区勉強会参加者を中心に、詫間地区協議体が発足した。また、豊中地区では、地域づくり勉強会を実施した。

＜地区担当者会＞

開催日	参加人数	開催日	参加人数
平成31年4月25日	8	9月4日	10
令和元年5月8日	6	10月4日	10
5月21日	7	令和2年1月16日	7
6月6日	9	2月6日	7
7月4日	10	2月18日	4
8月23日	10		

各地区に配置されている地区担当職員（第2層生活支援コーディネーター）が定期的に集まり情報共有や地区ごとの進め方等について協議を重ねた。

＜市包括支援センターとの合同勉強会＞

開催日・開催場所	内 容	参加人数
令和元年7月23日 みとよ未来創造館	テーマ：「生活支援体制整備事業の推進に向けて ～協議体とSCの機能とその展開～」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団ふれあい推進事業 新地域支援事業担当リーダー 社会福祉士 長瀬 純治 氏	19
令和元年9月30日 高瀬支所	テーマ：「三豊市にける協議体の進め方について」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団ふれあい推進事業 新地域支援事業担当リーダー 社会福祉士 長瀬 純治 氏	9
令和元年11月21日 高瀬支所	テーマ：「三地区合同の地区勉強会について」 講師：公益財団法人さわやか福祉財団ふれあい推進事業 新地域支援事業担当リーダー 社会福祉士 長瀬 純治 氏	10

生活支援体制整備事業の取り組みをはじめ、各地区ごとでの進め方等職員間の理解を深めるために三豊市包括支援センターと合同で勉強会を開催した。

3. 共同募金配分事業 事業費 12,399,663円

(1) 福祉まつり開催事業 事業費 876,628円

昨年度に引き続き、ボランティア団体をはじめ障害者団体等の活動の場づくり、団体同士の交流のため開催。住民の地域福祉活動への参加促進を図るとともに、福祉啓発の場となった。今年度より、住民から要望のあった骨密度・足指検査をはじめ、健診協会・鍼灸師会の協力を得て健康チェックブースを開設した。スタンプラリー・防災用品の抽選会等も実施し、終始楽しめる福祉まつりになり、延べ1,000人以上の来場があった。

<みとよ福祉まつり>

開催日・開催場所	主な内容
令和元年9月14日 三豊市市民交流センター 及び 豊中町農村環境改善センター	・屋外イベント(各種体験) ・屋内ステージイベント ・屋内イベント(飲食ブース、バザー、ファミリー・サポート・センターの事業紹介、出張登録会、写真コンテスト作品展示、骨密度チェックなど)

(2) 福祉教育推進事業 事業費 1,603,058円

① 福祉普及推進校(園)指定事業

三豊市内の小学校児童及び中学校生徒や幼稚園児を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やさしさ」を養うとともに、地域と連携した福祉教育の推進を目指すことを目的とする取り組みに対し、要綱に基き助成金を交付した。

<助成状況>

区分	実施数	助成額(円)	主な事業内容
幼稚園	17園	510,000	未就学児との交流、各種団体との交流(餅つき大会、お茶会、夏祭り)等
小学校	18校	880,000	地域での餅つき大会、福祉施設訪問、清掃活動等
中学校	5校	210,000	施設訪問、ふれあい看護体験等
合計	17園 23校	1,600,000	

② 夏のチャレンジボランティア講座2019の実施(三観5高校・市内7中学校の生徒対象)

三観の高校生及び市内中学生を対象に、ボランティアセンター主催事業とすることで、従来取り組んできた夏休みボランティア体験を見直し、内容をボランティア活動に絞り込んだ。

身近なところでのボランティア活動に対する関心を高め、具体的な活動への参加の機会を提供することができた。募集方法は、電話・来所以外にもメールでの申込み受付を取り入れる等、手軽に申込みができるようにしている。

<開催状況 13 コース>

	コース名	定員	申込数	最終参加人数
1	読み聞かせボランティア 協力：おはなしの会たかせ	10	5	3
2	音声訳ボランティア 協力：みとよ音声訳の会「ぽかぽか」	15	16	16
3	点字訳ボランティア 協力：点訳サークルアイ・みとよ	10	10	10
4	子育てサロンボランティア 協力：辻地区社協	4	7	4
5	異世代交流ボランティア 協力：大見地区社協	5	9	9
6	お楽しみ会ボランティア 協力：豊中町愛育会	12	17	11
7	託児ボランティア 協力：子育てボランティアみみちゃん	5	13	4
8	豊中読み聞かせボランティア（3 日間） 協力：お話ボランティア夢ふうせん	3	4	4
9	ふれあい会食ボランティア 協力：松崎地区社協	5	7	7
10	音楽ボランティア（3 日間） 協力：詫間地区民協音楽グループ	15	6	6
11	子どもが主役の夏まつりボランティア 協力：たくまこども食堂はびねすカフェ	5	7	7
12	仁尾読み聞かせボランティア 協力：仁尾町図書館ボランティアあいびいす	6	6	2
13	こすもす広場ボランティア 協力：こすもす広場	8	8	8
合計（13 コース）（15 か所）延べ 17 日		103	115	91

③ 福祉体験学習への支援（市内小学校の主に 5・6 年生、中学生対象）

子どもたちへの福祉教育の一環として、市内の小学校 5・6 年生に加え、小学校 3 年生を対象に福祉体験を実施した。実施の際には、担当教員と事前打合せを行い、体験をとおしてのねらいや授業の進め方を確認するとともに、福祉施設への訪問等についてのアドバイスを行った。また、体験学習後に希望のあった学校には高齢者疑似体験セットの貸し出しも行い、さらに理解を深めることができた。なお、未体験項目についても説明を行い今後の取り組みを促した。

< 体験内容 >

体験内容	実施小、中学校	延回数	参加延人数
高齢者等疑似体験	山本 2 回、財田、麻、比地、勝間、本山、比地大、上高野、笠田、下高瀬	11	274
車イス体験	山本 2 回、財田、麻、本山、上高野、下高瀬	7	190
視覚障害体験 (アイマスク体験含む)	山本 2 回、財田、上高野	4	88
認知症体験者養成講座	山本 2 回、財田 2 回、麻、比地、勝間、本山、比地大、笠田、下高瀬	11	304
合計	33 校 (延校)	33	856

※バリアフリーやユニバーサルデザインについての話を各体験の中で実施。高齢者疑似体験セットや車イス、視覚障害者用オセロなどの教材の説明と貸出等を行った。

(3) 地域活動支援事業 事業費 323,326 円

○高齢者声かけ見守り活動助成事業

地域において、一人暮らしや高齢者のみの世帯等「気になる（心配）人」が増加するなか、自治会等の小地域を基盤に、住民の参加と協力により、同じ地域のなかで気になる人への生活を見守り、安心して暮らせる地域づくりを目的とする事業を実施する団体・グループに助成金を交付し、活動を支援した。

また、必要に応じて訪問時に持参できる熱中症予防等のチラシなどを配布した。

< 助成事業内容 >

助成事業内容	団体数	助成額合計 (円)
高齢者声かけ見守り活動	7	260,000

(4) サロン活動推進事業 事業費 3,394,060 円

○ふれあい・いきいきサロン活動

高齢者だけでなく、障害者や子育て中の親、閉じこもり孤立しがちな人たちが、ボランティアである住民と共に地域の中で、いきいきと元気に生活できるつながりをもつ場（ふれあい・いきいきサロン）に対して助成金を交付し、活動を支援した。年度末には新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サロン研修の中止や開催を見送るサロンが多くあり、今後も各サロンにて再開の検討を要する状態となった。

< 高齢者サロン >

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
高瀬	40	0	804	7,854	761,000
山本	18	1	288	3,747	348,000
三野	9	△2	149	1,772	164,000
豊中	43	△3	583	8,594	783,000
詫間	20	0	404	5,181	390,000

仁尾	16	0	191	3,127	291,000
財田	5	0	99	830	85,000
計	151	△4	2,518	31,105	2,822,000

<子育てサロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
豊中	2	0	75	2,237	80,000

<障害者サロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	2	0	49	650	65,000

<毎日型サロン>

地区名	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
三野	1	0	149	6,928	100,000
豊中	1	0	295	2,283	100,000
財田	1	0	134	2,889	100,000

<サロン活動推進者研修会の開催状況>

地区名	内容
高瀬	令和元年11月26日 みとよ未来創造館 「うちわを使ったサロンで出来るお正月飾り」講師：社協職員 参加者 50人／参加サロン数 30サロン
山本	令和2年3月3日(※中止) 山本町保健センター 「いきいき長生き食事のくふう」 講師：三豊総合病院 管理栄養士 苧坂 枝織 氏 サロン数 18サロン×2人=36人に案内
三野	令和2年3月17日(※中止) 三野町社会福祉センター 「牛乳パックを使ったビニール袋入れ」講師：社協職員 10サロンへ案内
豊中	令和2年3月13日(※中止) 三豊市市民交流センター 「楽しく食べて健康に」講師：キューピー株式会社 サロン数 45サロン×2人=90人に案内
詫間	令和2年3月6日(※中止) 詫間町福祉センター 健康体操（介護予防体操を中心に指導）及び適切な水分補給等について 講師：三豊総合病院移動健康教室講師、大塚製薬OS-1事業部講師 23団体×3人と個人1人の70人に案内
仁尾	令和2年3月9日(※中止) 市民センター仁尾 「健康体操」講師：スポーツインストラクター 道久 仁美 氏 サロン数 17サロン 50人に案内
財田	令和元年11月20日 財田町たからだの里 パークゴルフ場 「パークゴルフ」 参加者 31人／参加サロン数 4サロン

(※)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 広報啓発事業 事業費 1,513,977円

広報紙 みとよ社協だより「しちふく」の発行・ホームページの充実

本会事業等への理解を深めるとともに福祉活動の啓発や、サロン活動等の地域福祉活動など福祉の情報発信を目的に広報紙を年4回発行した。

また、ホームページでは、タイムリーな本会及びファミリー・サポート・センターからの情報発信、新着情報、スケジュール等の内容を随時更新し、正確な情報提供に努めた。さらにボランティアセンター専用のページを活用して、ボランティア関連情報の提供等を行った。

＜「しちふく」の発行状況＞

発行月	ページ数	主な内容
令和元年 4月	12	ふれあいいきいきサロン助成金案内、ボランティア保険案内 他
7月	12	30年度事業報告・決算、31年度事業計画・予算 他
10月	12	夏のチャレンジボランティア講座 2019、みとよきらっと☆くらぶ、共同募金、みとよ福祉まつり・社会福祉大会お知らせ 他
令和2年 1月	12	みとよ福祉まつり・社会福祉大会報告、福祉作文、ファミリー写真コンテスト 他

毎号掲載：七福通信(各地区の情報)、キラリ人☆見つけた(ボランティア団体・個人紹介)サロンへようこそ(地域のサロン活動の紹介)等

(6) 社会福祉大会開催事業 事業費 709,504円

「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、市内の社会福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の推進に取り組む決意を新たにするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に貢献されている方々の顕彰を行うため、本会、三豊市共同募金委員会、三豊市身体障害者協会、三豊市母子寡婦福祉連合会の共催で開催した。

- ① 令和元年7月1日 令和元年度会長表彰候補者の推薦について(依頼)
 - ・各種団体へ推薦依頼
- ② 令和元年9月11日 第14回三豊市社会福祉大会実行委員会開催
 - ・受賞者の選考について・大会資料等について

＜第14回三豊市社会福祉大会の概要＞

来場者数:約250人

開催日	主な内容	場 所
令和元年11月9日	・式典(表彰) - 民生委員・児童委員功労 14人 - 社協・施設・団体の役員 1人 - 社会福祉事業奉仕者 4人 - 社会福祉事業奉仕団体 3団体 - 自立更生努力者 2人	みとよ 未来創造館

	(感謝) 社会福祉事業協助者 20 人 社会福祉事業協助団体 11 団体 (福祉作文受賞者) 小学生の部 19 人 中学生の部 10 人 ・記念講演 演題「健康と笑い ～人生 100 年時代 楽しく・おもしろく～」 講師：NPO 法人健康笑い塾主宰 中井 宏次 氏	
--	--	--

(7) 安心安全推進事業 事業費 302,661 円

① 研修及び訓練

休日・夜間、勤務を要しない日等勤務時間外の緊急連絡手段のツールとして、インターネット回線を使った安否確認システムを活用するために、職員全員で運用方法や入力操作の確認、課題の検証を行った。また、広域災害が発災した場合、センター業務では近隣社協からの応援職員を含めた運営が想定されることから、同じ圏域である三豊・観音寺市両社協での合同訓練を昨年度に続いて実施した。実際に設置運営体験を行う中で、各役割について共通認識を図り、運営方法の検証と様式の整理等の確認を行うことを目的に開催したほか、災害時の情報発信に欠かせないホームページを迅速に分かりやすく立ち上げるための研修会を行った。

<開催状況>

開催日	内容	参加人数
令和元年 11 月 12 日	災害時の情報発信 場所：三豊市役所山本庁舎 2 階 講師：さいばーとれいん 斉場 俊之氏 内容：①「情報発信の必要性や実際について」講義 ②実際の事例を基にパソコンを使って情報発信演習 ③グループワークで振り返り作業、意見交換、講師総評	13
令和 2 年 1 月 21 日	本会災害時職員安否確認システム訓練 場所：本会各支所等 内容：グーグル安否確認システムを利用し、あらかじめ登録済の各メールアドレスへ安否確認の回答フォームを一斉配信し、現在の状況を返信することで職員の状況把握を行う。	49
2 月 8 日	三観合同災害ボランティアセンター運営シュミレーション訓練 場所：ハイスタッフホール 講師：ピースボート災害支援ボランティアセンター 内容：①ニーズ聞き取り訓練について ②災害ボランティアセンター設置に係るシュミレーション訓練 ③グループで振り返り作業、意見交換、講師総評	62 (内、三豊市 34)

②研修会、関係機関の会議等への出席

開催日	会議名	開催場所
令和元年 12 月 5 日	南海トラフ地震臨時情報の備え	サンポート高松
12 月 9 日	災害ボランティアセンター研修会及び運営訓練	香川県社会福祉総合センター
令和 2 年 1 月 7 日	災害ボランティア等との連携強化についての勉強会	香川県庁本館
1 月 18 日	南海トラフ巨大地震における災害ボランティアセンター運営訓練	四番丁スクエア（高松市）

③ その他

下高瀬小学校 EVAG 体験（出前講座）
小学校 4 年生の親子を対象に、避難行動訓練 EVAG と実際に住んでいる地域の防災マップを使い、体験・参加型のシュミレーション訓練を実施。各人が、様々な状況に置かれた住民になりきり、災害時の受け取った情報で避難行動の疑似体験をすることにより、普段の備えと災害時の判断、地域で生活をする自分以外の立場の人について、親子で考えるきっかけとなった。

（８）まるみプラン推進事業 事業費 1,501,712 円

① 第 3 期三豊市地域福祉活動計画（まるみプラン）の推進

昨年度策定された第 3 期計画を実践するため、各地区（7 町）の地域福祉活動計画実行委員会や地区社協等が主体となり、実践に向けた具体的な協議と既存の活動を見直しながら事業が展開された。

基本目標 1 の“ひとづくり”では、小地域活動の取り組み促進のため、地域我が事・丸ごと推進事業により、新たな社会資源の開発と担い手づくりを進めた。また、ボランティア活動への参加を促すため、夏のチャレンジボランティア講座の内容充実を図った。

基本目標 2 の“しくみづくり”では、相談窓口の見直し・検討を行い、次年度に向けた新たな相談場所の設置等の協議を行った。また、担い手同士のネットワークづくりとして県や市と連携して子どもの居場所づくりに係る意見交換会を行った。

基本目標 3 の“きずなづくり”では、昨年度に引き続き有事の際に備えた取り組みとして観音寺市社協との合同訓練を実施した。また、みとよ青年会議所との連携を視野に意見交換を行い、今後も引き続き関係づくりを行っていくことを確認した。

また、各地区では実行委員や関係者らと協議を重ねるとともに、学校や三豊市や各種団体等との連携・協働により、子どもから高齢者まで幅広い地域住民活動へと浸透している。

<地区実行委員会等の開催・運営>

地区名	委員人数	運営形体	開催数	実施事業
	開催事業に 応じてボラ ンティアス	（プラッ トフォー ムとし	会議 14 事業	地区社協を中心とした「まるみプロジェクト」として計画実施。全体会や各打ち合わせ会を経て、子育て支援セン

高瀬	タッフ募集	て) まる みプロジ ェクト	2	ターでの「み～んな集まれ! 秋まつり」、みとよ未来創造館での「あそびの館詰」にて、遊びのブースの提供や参加者、地域のボランティア等との交流の支援を行った。また、「たかせ健康ウォーキング」の企画、会議を実施していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 会議・事業で参加者延 897 人参加。
山本	19	全体会 地区社協 会長会・ 正副委員 長会等	2 4	「宝山湖公園ウォーキング」開催。「お花見ウォーキング」は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止。保育所交流事業「夕涼み会、餅つき会」等の参加協力。長寿会行事への協賛、元気会交流会への参加。
三野	13	全体会 分科会等	3 2	「ゴミ持ち帰り運動」の推進。 「子育て 10 カ条」の各戸配布 (啓発) 「みのふるさと再発見ウォーキング」開催。
豊中	23	全体会 リーダー会 集いの場 検討部会	5 6 5	「芋炊きウォーキング」開催 (参加者 275 人)。今回は笠田高校のボランティア 4 人が参加した。町文化祭会場で、活動内容や推移のパネル展示、防災用品展示を行い広報活動 (来場者約 2,400 人) をした。食改の協力を得て男性料理教室を開催。(参加者 53 人)。 新たな取り組みとして、集いの場検討部会を設置し、「とよなか子どもキッチン」を開催。町内 16 人の小学生と笠田高校のボランティア 6 人が参加する等、地域の異世代が食事を通じて集える場を作るとともに、地元高校生を含め新たなボランティア活動の担い手の育成に努めた。
詫間	12 及び健康福祉まつり協力団体 7	全体会等 事業	会議 2 事業 3	全体会とたくま健康福祉まつり実行委員会の会議で各種打ち合わせにより、「たくま健康福祉まつり」を開催し、健康と福祉をとおして各団体の参加促進、交流連携を図った。また、体力測定会の協力・参加や、防災講演会の協力・参加に併せ、詫間支所内で活動する各種団体と共にラジオ体操を行い、普及促進と体力維持も図った。

仁尾	16	全体会 事業	2 5	仁尾中、仁尾小、曾保小学校区防災訓練。クリーン作戦参加。敬老会など開催。
財田	30	全体会 打合せ会	2 3	町内のサロン活動団体とのパークゴルフ研修を行い、交流と健康維持も図ることができた。また、地区社協を中心に「宝山湖ウォーキング」、「パフォーマンスシアター（腹話術・大道芸）」の開催を計画。今年は町内外問わず参加募集していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

② 地域福祉活動に対する助成金交付

- ・各地区地域福祉活動計画経費として、共同募金助成事業より経費を充当した。
- ・各地区とも 150,000 円の助成金を原資に地域での活動を展開した。

（９）地域我が事・丸ごと推進事業 事業費 2,174,737円

我が事・丸ごとの地域づくりは、地域共生社会の実現に向けて、総合的に取り組むこととされている。この支援体制づくりに努めることで、制度・分野ごとの縦割りの関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会の一助となるよう、新規事業として取り組んだ。

第３期まるみプラン策定に伴い、小地域を中心とした地域共生社会の実現に向けて、我が事・丸ごと事業の推進と活動に対する助成を行った。また、社会課題となっているひきこもり対策について先進地での取り組みを学ぶ機会を持った。

① 小地域活動に対する助成金交付（地域活動応援事業）

＜交付状況：9 団体 10 事業＞

（単位：円）

活動地域	活動内容	件数	助成金額
高瀬町	こども食堂	1	84,000
山本町	居場所づくり	1	260,000
三野町	配食サービス	1	71,000
	こども食堂（長期休み中）	1	57,000
豊中町	こども食堂	2	328,000
	居場所づくり	1	300,000
詫間町	居場所づくり・学習支援	1	300,000
	居場所づくり	1	300,000
仁尾町	居場所づくり	1	300,000
計		10	2,000,000

② 第1回全国ひきこもり支援フォーラムへの参加

近年、生活困窮者をはじめ、8050問題など地域におけるひきこもり事例が増加していることを踏まえ、本会として今後対応すべき地域課題の一つとして、先進地事例を学ぶために参加した。

開催日	会議名	開催場所
令和元年8月26日 参加 職員4名	全国ひきこもり支援基礎自治体サミット in そうじゃ 全国ひきこもり支援フォーラム	岡山県立大学 (岡山県総社市)

4. 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業) 事業費 2,703,509円

低所得・障害者・高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的自立・生活意欲の助長促進・在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、民生委員・児童委員、三豊市、県社協と連携し相談支援を行った。併せて、既借受人を対象とした債権の管理及び世帯の実態把握を行うため、県社協主催で相談会を年2回(8月・12月)実施し、情報収集等に努めた。なお、令和2年3月25日以降、新型コロナウイルスで減収した世帯向けへの新たな特例となる貸付相談を開始した。

<相談・貸付状況>

(単位：件・円)

資金種別	相談件数	貸付件数	県社協貸付金額
総合支援資金	0	0	-
福祉資金(福祉費)	16	0	-
福祉資金(緊急小口)	66	13	688,000
コロナ特例貸付(緊急小口)	5	5	700,000
教育支援資金	56	2	4,741,000
その他	8	1	30,000
計	151	21	6,159,000

5. 福祉サービス利用援助事業 (日常生活自立支援事業) (県社協受託事業)

事業費 10,450,177円

高齢や障害により判断能力が不十分で、日常生活を送るうえで必要なサービスを実施した。利用するための情報を入手したり、理解したり、判断したり、意思表示を自分だけでは適切に行うことが困難な方に対し、地域において自立した生活が送れるよう、必要な手続きの援助、公共料金の支払いや年金の受領確認、生活費の払戻などの日常的なお金の管理、通帳や年金証書などの書類の預かり等を本人との契約により、専門員3人と生活支援員登録6人が利用者に対し、支援を行った。

<相談・援助件数>

内容	本事業の利用に関するもの・その他				合計
対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	1	0	1	3	5
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	11	9	6	1	27
c. 相談援助件数 (a・b 以外)	927	1, 113	856	61	2, 957
合 計	939	1, 122	863	65	2, 989

<利用者の状況> (人)

対象者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
新規契約者	5	2	3	1	11
契約終了者	5	3	1	1	10
令和元年度末利用者	9	12	11	3	35

(内：生活保護受給者 7 人)

<利用者の年代別内訳>

年齢	90 才代	80 才代	70 才代	60 才代	50 才代	40 才代	30 才代	20 才代
人数	2	1	9	6	7	6	1	3

<研修会、関係機関の会議等への出席>

開催日	会議名	開催場所
平成 31 年 4 月 17 日 令和元 6 月 26 日	生活福祉資金貸付事業・日常生活自立支援事業・生活困窮者自立支援事業等担当者定例会	香川県社会福祉総合センター
令和元年 5 月 28 日	生活支援員研修会	香川県社会福祉総合センター
7 月 19 日 9 月 6 日	ひきこもり支援者のための実践研修	香川県精神保健福祉センター 丸亀市保健福祉センター
8 月 26 日	全国ひきこもり支援フォーラム	岡山県立大学
9 月 28 日	あんしんネット相談会	観音寺市中央公民館
令和元年 9 月 20 日 11 月 15 日	依存症者地域生活支援研修会	三豊市市民交流センター
令和 2 年 2 月 6 日	地域ケア個別会議	三豊市役所
平成 31 年 4 月 23 日 令和元年 7 月 23 日 10 月 23 日 令和 2 年 1 月 28 日	三観地域自立支援協議会 (事例検討会含む)	三豊市役所 観音寺市役所
令和元年 10 月 23 日	三観地域障害者差別解消研修会	観音寺市役所
令和元年 7 月 9 日	三豊市発達障害等支援連携会議	三豊市役所

< 研修・説明会の開催 >

開催日	研修会名	対象者	参加人数
平成 31 年 4 月 17 日	民協定例研修会 (権利擁護への三豊市社協の 取組み)	財田地区民生委員	15
4 月 25 日		三野地区民生委員 福祉協力員	36
令和元年 5 月 9 日		詫間地区民生委員	35
5 月 9 日		仁尾地区民生委員	20
5 月 9 日		山本地区民生委員	14
令和 2 年 1 月 10 日		高瀬・三野地区民 生委員 (合同)	50

6. 法人成年後見等事業 事業費 5, 0 9 3, 6 3 6 円

認知症高齢者、知的障害者及び精神障害者など判断能力が不十分な方に対し、裁判所より選任を受け、本人の判断能力や生活の実情に応じた身上監護及び財産管理を行った。ケースの内容によっては、弁護士と複数での受任を行っている。

なお、後見報酬（手数料）は裁判所が決定する。

< 受任状況 >

※年度末：受任件数 11 件

類型	成年後見	保佐	補助	合計	終了
平成 30 年度までの件数	7	6	1	14	5
令和元年度の件数	2	2	1	5	3
令和元年度末利用件数	4	6	1	11	

< 利用者の年代別 >

年齢	90 才代	80 才代	70 才代	60 才代	50 才代	40 才代
人数	1	4	2	2	1	1

(生活保護受給者なし)

○三豊市法人成年後見事業検討委員会の設置

適正な業務を担保するため受任適否の判断や、後見業務の指導等を受けることを目的に法人成年後見事業検討委員会を設置している。

< 委員構成 >

選出区分	備考
学識経験者	四国学院大学社会福祉学科教授 香川県福祉サービス運営適正化委員会委員長
本会役職員	本会監事
弁護士	香川県弁護士会
司法書士	リーガルサポート香川
社会福祉士	一般社団法人香川県社会福祉士会
行政機関関係者	三豊市福祉課
	三豊市介護保険課

<委員会>

開催日	内容	開催場所
平成31年4月23日	新規受任ケース（2件）について審議	高瀬町社会福祉センター
令和元年8月27日	新規受任ケース（3件）について審議	高瀬町社会福祉センター
令和2年3月13日	年度内受任ケース（14件）の報告は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	-

<研修会、関係機関の会議等>

開催日	会議名	開催場所
令和元年5月24日	家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	高松家庭裁判所 観音寺支部
6月19日	成年後見制度利用促進説明会	高松商工会議所
11月27日	権利擁護関係事業担当者会	香川県社会福祉総合センター
令和2年2月10日	三豊市成年後見制度利用促進審議会	三豊市役所

○NPO法人後見ネットかがわへの協力

平成30年度より、同法人の活動目的に賛同し、地域の高齢者や障害者等の権利擁護推進のため、同法人の成年後見人等の受任ケースのうち市内在住者2件について、地域で生活していくための支援を行った。

<会議等>

開催日	会議名	開催場所
令和元年5月28日	後見ネットかがわ総会	香川県社会福祉総合センター

7. 生計困難者に対する相談支援事業 事業費 102,880円

香川おもいやりネットワーク事業

社会福祉施設や民生委員・児童委員と社会福祉協議会が連携してネットワーク会議を開催し、支援を必要とする方に「地域全体で支援する仕組み」をつくり、「福祉でまちづくり」をめざし取り組んだ。

令和元年度は相談者12名（延べ68件）に対し、継続的相談とフードバンクの活用により支援を行い、必要な制度や支援に繋げた。

8. ファミリー・サポート・センター事業 （三豊市受託事業）

事業費 8,599,757円

（1）ファミリー・サポート・センター事業 事業費 7,022,565円

① 会員数及び活動件数

会員宅や各地域子育て支援センター・つどいの広場等に応援アドバイザーが出向き、随時面接を行い登録の手続きをしたことにより会員の増加が順調となった。また、利用

した会員の口コミによる PR も広がり会員登録、援助依頼も増加している。継続の依頼も多くなり会員相互の信頼関係も順調なため利用が広がり、安心安全に援助が受けられることが件数増加にもつながった。

＜会員数＞

(人)

会員種別	本年度	前年度	増減
提供（まかせて）会員	271	270	1
依頼（おねがい）会員	722	711	11
両方会員	43	43	0
計	1,036	1,024	12

＜活動実績＞

(件)

相互援助活動の取組内容	本年度件数	前年度件数
① 保育施設までの送迎	711	445
② 放課後児童クラブまでの送迎（407）、終了後の預かり（81）	488	521
③ 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	283	118
④ 小学校までの送迎	14	83
⑤ 保護者等の外出の場合の援助	31	241
⑥ 保育所・学校等休み時の援助	58	88
⑦ 習い事等の送迎	434	569
⑧ その他	825	263
・母親（おねがい会員）宅での預かり・母親同伴の預かり	(462)	(235)
・保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	(4)	(11)
・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	(0)	(13)
・保護者の病気時・習い事等の場合、保育所入所前の援助	(8)	(0)
・保護者自宅までの送迎	(345)	(0)
・その他急用の場合の援助	(6)	(4)
合 計	2,844	2,328

② 会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催

(ア) ファミサポの要となる「まかせて会員」養成講座を年2回開催した。昨年度から専門知識の習得と、安心安全に子どもの預かりが行えるよう、5日間延べ24時間の講習となった。

＜養成講座＞

開催日	講習会	開催場所	受講人数
令和元年6月25日	第1回 「まかせて会員」 養成講座	豊中町保健センター	11
6月26日			14
7月4日			14
7月5日			13
7月9日			14
令和2年2月17日	第2回 「まかせて会員」	豊中町保健センター	19
2月18日			12

2月21日	養成講座		12
2月26日			5
3月6日			11

(イ) 会員のスキルアップをめざしフォローアップ講習会を開催した。全会員の健康管理を考え、赤ちゃんから大人までの幅広い口腔ケアについて学んだ。また、障がいのある子どもたちの援助も増えてきていることから、子どものみならず、その家族の気持ちを考えた援助ができるよう、専門家を招きノウハウを学んだ。

＜フォローアップ講習会＞

開催日	内容	開催場所	受講人数
令和元年 5月29日	笑顔で元気であるための歯のはなし ～赤ちゃんから大人までの口腔ケアについて～	豊中町保健センター	22
10月8日	牛乳・乳製品を使った料理講習		25
令和2年 1月8日	「発達に障がいのある子をサポートする」 ～家族の気持ちに寄り添って～		29

③ 会員相互の連携と親睦を図る交流会の開催

会員相互の交流を図るために交流会を2回開催した。アンケートを基に内容等を検討したことにより、参加者数も増加した。また、子育て世代だけでなく幅広い世代の方との交流を図ることは、ファミサポのPRに併せ、会員登録につながるツールとなることから、今後も事業への参加拡大に努める。

＜交流会＞

開催日	内容	開催場所	参加人数
令和元年 6月8日	ミニ交流会	豊中町保健センター	32
11月30日	クリスマス会	三野町保健センター	89

④ 関係機関との連携強化

(ア) 地域子育て支援センター、つどいの広場に出張登録会を兼ね定期的に出向き、活動内容等の情報交換、要望、また施設の利用者の意見などを基に、よりよいサービスの充実を検討し調整を図った。

(イ) 県内の関連機関（県・他センター）との連携を取り、会員への対応の仕方や養成講座開催の情報交換を行った。また、県内ファミサポ連絡会に参加し、ファミサポに求められていることなどの考えや視野を変えた方法を話し合い、今後の手立ての参考になった。

＜県内ファミサポ連絡会＞

開催日	内容	開催場所
令和元年 8月22日	30年度実績報告・令和元年度行事計画案・幼児無償化について	観音寺市社会福祉センター
令和2年 1月10日	幼児教育無償化について・相互事例検討	志度社会福祉センター

(ウ) 全国アドバイザー交流会に参加し、全国の活動実施報告を聞き、情報交換・意見交換等を行うことができた。なお、教育現場におけるクレーム対応や保護者対応

での基本技を学び、今後のファミリー・サポート・センターの保護者対応に役立つ研修となった。

<全国アドバイザー研修会>

開催日	内容	開催場所
令和元年 10月3日	ファミリー・サポート・センター事業に求められる安心・安全な活動、グループワーク、意見交換	ホテル大阪ベイタワー

⑤ 情報提供・広報活動

ファミサポ通信を年3回発行し、各施設等に配布して活動状況や会員数・イベント情報・地域の子育て関連などの情報提供を行った。広報「みとよ」・社協だより「しちふく」にも定期的に情報を掲載し地域への情報発信を行い、会員増強に努めた。ホームページによりさらに情報提供の輪を広げ、いつでも活動内容の情報をキャッチできるよう努めた。

発行物	ファミリー・サポート・センターチラシ、(広報「みとよ」、社協だより「しちふく」)、ファミサポ通信(年3回発行)、まかせて会員養成講座チラシ、ファミリー・サポート・センター通信増刊(1～2月発行)、子育てホームヘルプチラシ
ホームページ掲載	三豊市・本会ホームページ

(2) 子育てホームヘルプ事業 事業費 1,577,192円

産前(2ヶ月)・産後(6ヶ月)期に子育てホームヘルパーを派遣して、育児または、家事の援助、相談を行うサービスを実施。事業の知名度が浸透してきており、6ヶ月を過ぎるとファミサポにつなぐ援助も定着してきている。

○登録会員数及び利用件数

<利用者・子育てホームヘルパー数>

登録会員数	利用者	14	(依頼人数12)	人数計 63
	子育てホームヘルパー	49	(派遣人数13)	

<活動件数>

活動実績	相互援助活動の取組内容			活動件数
	① 食事関係(調理全般)			69
	② 子どもの世話(子守り・沐浴・沐浴介助・オムツ交換・授乳・寝かしつけ)			106
	③ 母の歯医者・接骨院付添			1
	④ 幼稚園の迎え付添			6
	⑤ 保育所の付添			1
	⑥ 予防接種・健診・上の子の病院受診付添			1
	⑦ 掃除(洗濯・風呂掃除・トイレ掃除)			6
	⑧ 当日キャンセル			11
	合 計			201

＜子育てホームヘルパーフォローアップ講習会＞

開催日	内容	開催場所	受講人数
令和2年 1月18日	「発達に障がいのある子をサポートする」 ～家族の気持ちに寄り添って～	三野町 保健センター	15

9. 居宅介護支援事業 事業費 48,777,153円

事業所の介護支援専門員8人(常勤換算5.6)が、要介護状態にある高齢者(介護予防等支援含む)に対し、適正な居宅介護支援を提供した。

① 要介護ケアプラン業務

令和元年度 延人数 1,730人(30年度 1,782人) 前年度対比 97.1%

プラン料 要介護1、2 = 10,530円

要介護3～5 = 13,680円

※特定事業所加算Ⅲ取得(1件につき3,000円加算)

＜介護度別内訳＞ (人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
621	561	253	186	109	1,730

＜月別ケアプラン作成件数＞ (人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	142	143	146	140	137	144	149	147	145	144	143	150	1,730
内初回加算	5	2	3	1	2	8	7	1	4	1	2	7	43

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務 (三豊市受託事業)

要支援1、2及び事業対象者

令和元年度 延人数 340人(前年度 373人) 前年度末対比 91.2%

受託金 1,348,599円

プラン料 3,879円/件(10/1～)・初回加算(新規)3,000円/件

＜月別予防プラン作成件数＞ (人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	26	26	26	29	31	30	30	30	31	30	30	21	340
内新規 対象者	0	2	0	4	1	0	1	1	1	0	1	0	11

③ 介護保険認定調査事業 (三豊市等受託事業)

介護保険法に定める要介護認定調査業務を受託し実施した。

(介護支援専門員資格者が従事)

・令和元年度 調査人数 542人(前年度 497人) 前年度対比 109.1%

受託金 1,840,191円

調査料(市)在宅 = 3,500 円/件
 施設 = 2,500 円/件
 市外 = 2,921 円/件～4,400 円/件

<月別認定調査件数>

(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市	49	45	44	44	45	45	45	45	45	44	44	38	533
市外	0	0	0	0	0	2	1	2	2	2	0	0	9

<介護支援専門員研修>

居宅介護支援事業所の質の向上を目指し、ケアマネ会議(事業所内)を週1回開催し、議題に基づき共有連携を図ったほか、市の実施する医療介護連携勉強会・介護サービス事業者協議会主催の介護研修にも参加する等スキルを磨いた。令和2年3月より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されていた研修はすべて中止となった。

開催日	参加者	研修内容
令和元年 4月 4月1日	全員 2	ケアマネ会議(3.10.17.24日) 介護リーダー会議(組織体制・業務所管 他)
5月 5月30日	全員 3	ケアマネ会議(8.15.22.29日) 介護サービス事業者協議会講演会 「Aging in place 地域で暮らすために～在宅診療」
6月 6月6日 7日 12日	全員 3 6 5	ケアマネ会議(5.12.19.26日) 医療介護連携のアカラクについて創造してみよう(医療介護連携) 第1回研修「H30.3開催の集団指導内容の再確認」 日協堂体験型勉強会「どんどん外出するための環境づくり」
7月 7月1日 3日 4日 19日 23日 24日 25日	全員 1 2 1 1 3 2 1	ケアマネ会議(3.10.17.24.31日) 災害被害の予見向上研修会 第1回主任介護支援専門員連絡会「多職種連携を行う上での課題」 永康病院の医療・介護連携について(医療介護連携) 介護サービス事業者協議会「接遇研修」 生活支援体制整備事業合同勉強会 介護リーダー会議(研修案内・行事 他) 県内社協 在宅福祉サービス等意見交換会
8月 8月1日 2日 2日 14日	全員 1 6 6 3	ケアマネ会議(7.14.21.28日) 高齢者の見守りについて(医療介護連携) 第2回研修「事例検討」 他事業所との事例検討会 介護リーダー会議(行事・事業所状況 他)
9月 9月5日	全員 1	ケアマネ会議(4.11.18.25日) 看取り支援の留意事項について(医療介護連携)

6 日	1	福祉サービス苦情対応研修会「協働的な“問題相違解決”の技法を学ぶ」
18 日	3	介護リーダー会議(社協役員会・ふくしまつり終了報告 他)
24 日	3	県介護認定調査員研修
10 月	全員	ケアマネ会議(2. 9. 16. 23. 30 日)
10 月 3 日	2	在宅医療介護のアカラク緊急時における対応 (医療介護連携)
11 日	2	第 2 回主任介護支援専門員連絡会「障害福祉制度について」
18 日	3	介護サービス研修「南海トラフ地震等に備えて」
23 日	3	介護リーダー会議(社協福祉大会・行事 他)
25 日	全員	職員研修「安全運転セミナー」
30 日	2	西讃地域主任介護支援専門員連絡会「難病支援について」
11 月	全員	ケアマネ会議(6. 13. 20. 27 日)
11 月 7 日	2	災害時の支援方法について (医療介護連携)
13 日	3	介護リーダー会議(社協役員会・事業所報告 他)
16 日	1	介護支援専門員資質向上研修会「ケアマネジメント力をさらに高めるために」
26 日	3	三豊市調査員研修
29 日	2	介護支援専門員実務研修実習指導者研修
12 月	全員	ケアマネ会議(4. 10. 17. 24. 31 日)
12 月 5 日	1	在宅医療に明日はない? (医療介護連携)
11 日	3	介護リーダー会議(職員採用関係 他)
令和 2 年		
1 月	全員	ケアマネ会議(8. 15. 22. 29 日)
1 月 9 日	1	災害時の支援方法についてパートⅡ (医療介護連携)
16 日	1	介護サービス研修「職場のコミュニケーション向上研修」
16 日	2	介護リーダー会議(組織、事業 他)
2 月	全員	ケアマネ会議(5. 12. 19. 26 日)
2 月 6 日	1	回復期リハビリテーション病棟とは (医療介護連携)
7 日	6	第 3 回研修「認知症施策推進大綱に基づく三豊市の取り組みと権利擁護について」
	7	他事業所との事例検討会
8 日	4	三観合同災害ボランティアセンター運営シュミレーション
12 日	3	介護リーダー会議(研修行事 他)
21 日	2	主任介護支援専門員フォローアップ研修会「災害時におけるケアマネージャーの役割について」
3 月	全員	ケアマネ会議(4. 11. 18. 25 日)
3 月 11 日	3	介護リーダー会議(ウイルス対策 他)
5 日		ACP について (医療介護連携) →中止
12 日	2	職員研修「健康診断結果について、新型ウイルスの知識と対策」
13 日		介護サービス研修 →中止
13 日		主任介護支援専門員連絡会 →中止
25 日		令和元年度集団指導 →中止

＜その他＞介護支援専門員県更新研修(2名受講)は、3/3以降の研修が中止にて、6日間の未受講となった。

10. 訪問介護事業 事業費 48,190,951円

(1) 訪問介護事業 事業費 36,494,379円

介護福祉士または訪問介護員研修の修了者である職員または登録ヘルパーが、要介護状態にある高齢者に対し、介護保険法により適正に訪問介護を実施した。介護保険・障害福祉サービスの事業所を管理者・サービス提供責任者の4人が、訪問計画・ヘルパー配置計画及びモニタリングを行い、利用者の生活機能の維持、向上を目指し支援を行った。

＜介護度別利用人数＞

※令和元年度末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
32	19	7	4	4	66

＜月別利用人数＞ 令和元年度 865人(前年度919人) 前年度末対比 94.1%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
79	81	76	75	69	74	75	71	67	65	67	66	865

＜月別利用回数＞ 令和元年度 10,933人(前年度11,876人) 前年度末対比 92.1% (人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,018	1,079	944	1,015	913	926	1,000	904	844	753	723	814	10,933

(2) 生活支援訪問事業 事業費 10,902,740円

三豊市の介護予防・日常生活支援事業の実施に伴い、介護予防・日常生活支援を、その心身状況や環境状況に応じて適切に訪問サービスを実施した。

＜対象別実人数＞

(人)

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
3	21	35	59

※予防サービス利用者は、訪問サービス(I)～(III)を選択できる。

訪問型独自サービスⅠ…週1回程度の利用 1,172/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅡ…週2回程度の利用 2,342/単位(1単位:10円)

訪問型独自サービスⅢ…週2回以上の利用 3,715/単位(1単位:10円)

(但し、今年度より実績により1回単位での収入となっている)

＜月別利用人数＞ 令和元年度 653人(前年度598人) 前年度末対比 109.2%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
46	54	51	56	51	52	54	56	59	56	59	59	653

<月別利用回数> 令和元年度 3,979 人(前年度 3,922 人) 前年度末対比 101.5%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
290	329	312	363	314	314	343	340	336	318	335	385	3,979

(3) その他訪問事業 事業費 793,832円

① 生活管理指導員派遣事業 (三豊市受託事業)

一人暮らし高齢者への訪問事業で、日常生活(家事・対人関係等)への支援・指導を関係機関との連絡調整を行い、要介護状態の進行予防にもつなげた。

受託事業収入 344,540 円

利用者負担金 37,835 円

(週 1 回 1 時間程度の訪問サービス)

○令和元年度時間数 161 時間(前年度 169 時間)

派遣回数	時間数	延利用者数	対前年度比(時間数)
161 回	161 時間	47 人	95.3%

② 養育支援訪問事業 (三豊市受託事業)

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した訪問による養育支援が必要である家に対し、訪問サービスを実施、養育に関する相談、必要な支援を行った。

○令和元年度時間数 10 時間 1 家族(期間 10 月～3 月) (前年度 48 時間 3 家族)

派遣回数	時間数	延利用者数	対前年度比(時間数)
10 回	10 時間	5 人	20.8%

③ 支援サービス事業

介護保険事業外の訪問サービスを全額利用者負担で提供している。(対象者 1 名)

④ その他

訪問介護サービスの提供にあたり、担当のサービス提供責任者と訪問する登録ヘルパーとのカンファレンス(ケース検討)、また、サービスの向上とヘルパーの資質向上を目指した定期的な会議の開催や、研修会に参加した。他の事業同様、3 月以降の対外的な研修は中止となった。

<訪問介護事業(障害含)における研修会及びカンファレンスの開催状況>

開催日	参加人数	研修内容
令和元年 4 月 17 日	15	ヘルパーミーティング(高瀬地区)「新体制・法改正について」 ケースカンファレンス 3 件
5 月 24 日	2	介護サービス事業者協議会講演会「Aging in place 地域で暮らすために～在宅診療」
6 月 19 日	12	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)「記録の書き方について」 個別カンファレンス 6 件

7月3日	1	訪問介護適正実施研修
11日	1	障害福祉サービス集団指導
19日	1	介護サービス事業者協議会「接遇研修」
25日	1	特定処遇加算取得促進支援セミナー
	1	県内社協在宅福祉サービス等意見交換会
8月9日	1	リスクマネジメント研修
9月6日	1	福祉サービス苦情対応事業研修会「協働的な“問題相違解決”の技法を学ぶ」
10月25日	4	職員研修「交通安全セミナー」
11月21日	12	ヘルパーミーティング(財田・山本地区)「この冬の感染症対策」 ケース検討10件
12月11日	11	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)「緊急時の対応・サービス内容について」個別カンファレンス(担当者毎に実施)
令和2年 3月12日	20	社協介護職員研修「健康診断結果について・新型コロナウイルスの知識と対策」
集団指導		中止(3/23)

11. 障害福祉サービス事業

事業費 6,343,341円

障害者の日常生活を支援するために、身体障害・知的障害・精神障害等のある方に対し、自立した生活を営むことができるようヘルパー派遣を行った。

家事援助が大半を占めているが、通所利用者の移動時の見守り・支援、入浴介助・通院、外出時の援助・排泄行為の介助などのサービスも行った。

(1) 障害福祉サービス事業(居宅介護) 事業費 5,778,838円

(2) 障害福祉サービス事業(行動援護) 事業費 564,503円

<区分別利用人数>

※令和元年度末現在

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
11	10	4	2	1	1	29

令和元年度延べ利用者数 350人(前年度末346人) 前年度末対比101.2%

(内訳 居宅介護 326人・行動援護 24人)

給付費収入 6,237,339円 利用者負担金 97,181円

<月別利用人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30	28	27	28	29	29	29	29	29	33	30	29	350

<月別利用日数> 令和元年度 2,291 日(前年度 2,176 日) 前年度末対比 104.0%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅	192	181	168	187	185	187	172	183	175	172	178	191	2,291
行動	11	10	10	11	10	10	10	9	10	10	9	10	

12. 移動支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 1,416,525 円

1 回あたりの費用 30 分まで 1,500 円

1 時間まで 3,000 円

以後 30 分につき 1,000 円

<月別利用人数> 令和元年度 72 人(前年度 70 人) 前年度末対比 102.9%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	5	6	5	5	6	7	6	6	5	7	7	72

<月別利用回数> 令和元年度 455 回(30 年度 472 回) 前年度末対比 96.4%

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
36	38	39	39	35	35	43	38	38	35	38	41	455

13. 高齢者デイサービスセンター事業 (三豊市受託事業)

事業費 38,928,319 円

通所介護事業(三豊市財田町デイサービスセンター)を財田町国保高齢者保健福祉支援センターにて実施。

<活動内容>

時間帯	活動内容
9 時～	送迎車で職員が自宅まで迎え
9 時 45 分～15 時	健康チェック・入浴・手作業・昼食・機能訓練・レクリエーション・おやつ等
15 時 15 分	送迎車で職員が自宅まで送る

<月別実施状況> 令和元年度利用延人数 4,572 人(前年度利用延人数 5,037 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	20	19	20	22	20	19	21	20	20	19	18	21	239 日
月別利用者数	42	40	43	44	42	43	43	42	38	40	40	36	4,572 人
利用延人数	379	363	373	445	393	407	444	366	336	327	337	402	

<実施日数等>

実施日数	利用延人数	1 日平均利用者数	対前年度比(延人数)
239 日	4,572 人	19.1 人	90.8%

14. 生活支援通所事業 (三豊市受託事業) 事業費 2,930,347円

総合事業(通所型サービスA事業)として、環の湯にて週2回(水・金)実施。

※利用者負担額 1回 一律1,200円(昼食、『環の湯』入浴料含む)

＜月別実施状況＞ 令和元年度利用者延人数 510人(前年度利用延数 619人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	中止	87日
月別利用者数	14	13	13	14	14	14	13	13	13	11	10	－	
利用延人数	49	48	49	49	53	52	49	47	44	38	32	－	510人

＜実施日数等＞

実施日数	利用延人数	1日平均利用人数	対前年度比(延人数)
87日	510人	5.9人	－

※2月末より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため通所サービスは休止。

15. 高齢者生活福祉センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 3,055,673円

一人暮らし高齢者を含む市内居住の方で高齢のため孤立して生活することに不安のある2人が居住。なお、宿直員1人が巡回し、入居者の見守り活動等を実施。

16. その他事業

(1) 老人クラブ連合会

三豊市老人クラブ連合会では、高齢者福祉の理念に基づき「健康・友愛・奉仕」を基本に、健康で生きがいのある生活の実現と、高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的としている。

当連合会の事務局を務め各所への連絡調整、各会議・委員会の開催、行事の開催等の支援を行った。

＜総会・理事会・女性委員会・部会＞

開催日	会議名等	参加人数
令和元年4月16日	第1回健康長寿部会	120
5月10日	第134回理事会	12
5月10日	第2回健康長寿部会	16
5月12日	第14回総会	143
6月20日	第135回理事会	9
7月16日	第3回健康長寿部会	14
7月17日	第136回理事会	9
8月9日	第4回健康長寿部会	13
8月20日	第137回理事会	9
9月18日	第138回理事会	9
10月10日	第1回女性委員会	7
10月15日	第5回健康長寿部会	14

10月16日	第139回理事会	9
11月6日	第1回広報部会	5
11月16日	第140回理事会	9
12月10日	第2回広報部会	6
12月17日	第141回理事会	9
令和2年2月3日	第1回生涯学習部会	6
2月7日	健康長寿部会・女性委員会（合同）	16
2月18日	第3回広報部会	9
2月20日	第142回理事会	9
3月19日	第143回理事会（中止）	-

＜町老連・地区老連等事業＞

スポーツ大会の開催 （市老連助成事業）	各町老連で運動会・種別スポーツ大会等を開催（参加人数延べ1,199人）
友愛チーム活動の推進	友愛チーム活動・たまり場活動の推進 （チーム数：41）（たまり場活動数：91ヶ所）
交通安全運動の推進	交通安全に関する各種活動の実施
地域の（子ども）見守り活動と 「あいさつ運動」の実施	登下校時における見守りとあいさつ運動展開 （クラブ数：20）（会員数：343人）

＜市老連主催事業＞

開催日	会議名等	内容	人数
令和元年 6月4日	第5回ペタンク大会	スポーツ大会の種類を増やし、健康増進や生きがいの創出及び親睦交流	186
6月7日	単位クラブ活動研修会	単位クラブ実践発表・三野町老連大見寿会講演「熱中症からカラダを守ろう」	130
7月12日	第1回女性委員会主催研修会	講演「食が変われば心も体も変わる 今すぐできる実践と旬を楽しむ」・調理実習	34
9月6日	第7回G・G大会	健康増進や会員相互の親睦交流	194
11月13日	第2回女性委員会主催研修会	地元企業を訪問し研修と工場見学、豊中町老連女性部の活動報告、本山寺住職の講話	40
令和2年 1月25日	第3回女性委員会主催研修会	女性委員を中心に、手芸。牛乳パックを再利用した「ビニール袋携帯ケース」作り	34

＜その他研修等参加＞

開催日	研修等	内容	人数
令和元年 6月2日	三豊市「歯と口の健康フェスタ」への協力	口を使った遊びコーナーを担当約400組の親子と交流及び指導（ピロピロ笛、折り紙風船作りなど）	14
7月4日 ～5日	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会	基調報告・事例発表・講演	1
7月31日	第61回四国老人クラブ大会	表彰・講演・事例発表	2

9 月	老人の日・老人週間 「社会奉仕の日」	各地区老人クラブで実施	
9 月 25 日	シニアスポーツ交流大会 (ペタンク)	香川県総合運動公園で開催	24
10 月 24 日	シニアスポーツ交流大会 (グラウンドゴルフ)	高松市立東部運動公園で開催	42
11 月 15 日	ぼちぼちクラブ香川 みんなの集い	表彰式典・記念講演「香川県交通安全教育隊講話・県警音楽隊演奏」・ 芸能発表	46
11 月 26 日 ～27 日	全国老人クラブ大会	活動交流部会・表彰式典・記念講演	1
12 月 3 日	シニアスポーツ交流 ボウリング大会	太洋ボウルで開催	1
令和 2 年 3 月 5 日	地域支え合いリーダー研修 会【中止】	事例発表・グループ協議	-

(2) 共同募金事業

地域の福祉活動を支援し、活動の財源とするために、共同募金運動に協力し、市民の理解を深めた。また、三豊市共同募金委員会として、募金活動及び助成に関わる業務について運営委員・審査委員との協議を行いながら、地域活動への援助を行える体制を進めた。

＜一般募金＞

(円)

募金方法	目標額(A)	実績額(B)	比較増減(B)－(A)
戸別募金	17,360,000	16,887,200	△472,800
街頭募金	150,000	169,338	19,338
法人募金	3,700,000	3,467,000	△233,000
学校募金	620,000	572,218	△47,782
職域募金	1,100,000	1,068,000	△32,000
イベント募金	20,000	10,758	△9,242
その他の募金	150,000	253,901	103,901
合 計	23,100,000	22,428,415	△671,585

＜街頭募金＞

地区名	実施日	実施場所	参加人数
高瀬	令和元年 10 月 7 日	マルナカ高瀬店	10
	10 月 1 日	マルヨシセンター高瀬店 マックスバリュ高瀬店	12 12
山本	10 月 30 日	マルナカ山本店	10
三野	10 月 3 日	ピカソ三野店	8
豊中	10 月 2 日	マルナカ豊中店	7
		ゆめタウン三豊	20

詫間	10月1日	JR 詫間駅	10
仁尾	10月1日	株式会社 今川	8
財田	10月5日	道の駅たからだの里物産館	9

< 審査委員会 >

開催日	内容	結果
令和元年 5月28日	- 令和2年度事業共同募金地域助成申請に係る審査について - 令和2年度共同募金推進計画について	承認 承認
令和2年 2月21日	- 令和元年度募金結果について - 令和2年度事業共同募金地域助成計画(最終)について	報告 承認

< 運営委員会 >

開催日	内容	結果
令和元年 6月20日	- 運営委員の選任について - 監事の選任について - 平成30年度共同募金収支決算について - 令和2年度共同募金推進計画について	承認 承認 承認 承認
12月17日	- 運営委員の選任について - 運営委員会会則の変更について	承認 承認
令和2年 3月23日	三豊市共同募金委員会会則の一部変更について	承認
3月26日	- 三豊市共同募金委員会会則の一部変更について - 審査委員の選任について - 令和2年度共同募金委員会予算について (書面による決議)	承認 承認 承認

< 会計監査 >

開催日	主要付議事項	結果
令和元年5月22日	平成30年度決算監査	認定

< 平成30年度共同募金(令和元年度事業)地域助成事業 >

(円)

助成先(事業執行者)	事業件数	事業名	助成金額
三豊市社会福祉協議会	9	地域見守り活動支援事業、サロン活動推進事業、広報啓発事業、みとよ福祉まつり開催事業、三豊市社会福祉大会開催事業、福祉教育普及推進事業、安心安全推進事業、まるみプラン推進事業、地域我が事、丸ごと推進事業	10,395,108
地区社協 自治会連合会等	35	高齢者地域交流事業、ボランティアスキルアップ事業、子育てサロン事業、地域ふれあい活動事業、防災啓発事業、福祉施設訪問事業、防災炊き出し事業、高齢者ふれあい会食事業等	3,201,000

福祉団体 ボランティア団体	71	身障スポーツ大会開催事業、子育て 応援事業、ひとり暮らし等高齢者電 話訪問事業、社会を明るくする運動、 親子ふれあい事業、花いっぱい運動、 点訳絵本作成事業、更生保護事業、友 愛活動、環境美化活動、施設訪問、大 楠保存活動ボランティア事業、おは なし会等	4,465,000
合 計	115		18,061,108

(3) 子育てボランティアみみちゃん

子育てボランティアみみちゃんは、自分たちにできる育児の手伝いと、本会が取り組む子育て支援事業への協力を目的に設立し活動している。本会が事務局を務め、三豊市内での行政、各種団体からの託児ボランティア派遣要請に対し、連絡調整を行った。また、年間を通じて知識の習得や会員同士の親睦の機会を持つため研修会等を企画、実施した。

<託児活動>

行事名	回数	託児ボランティア数	依頼団体
離乳食講習会	7	47	三豊市子育て支援課
がん検診	21	42	三豊市健康課
三豊市愛育会関連行事	2	14	三豊市子育て支援課
豊中町愛育会関連行事	6	57	豊中町愛育会
ファミサポ関連行事	1	1	みとよファミリー・サポ ート・センター
健康料理教室	1	2	まちづくり推進隊三野
子育て講演会	1	7	西讃教育支援ネットワーク
合計	39	170	

<自主行事>

開催日	活動内容	開催場所	人数
令和元年 4月23日	総会（基調講演、交流会） 講演「地域の支えで前向き子育て」 講師：NPO 法人わははネット 理事長 中橋 恵美子 氏	豊中町農村環境改善 センター	38
6月5日	研修会（冷茶の入れ方） 講師：片岡 裕子 氏	みとよ未来創造館	14
7月10日	研修会（料理教室） 講師：前山 由美子 氏	豊中町保健センター	14
9月13日	みとよ福祉まつり準備 （ポップコーン作り）	豊中町農村環境改善 センター	7

9月14日	みとよ福祉まつり（活動紹介、ポップコーン販売、折り紙コーナー）		10
10月23日	視察研修会（にしき堂見学・平和記念公園他）	広島県	19
令和2年 1月28日	研修会（ヨーガ療法体験） 講師：山原 香織 氏	みとよ未来創造館	21

<協力行事>

開催日	活動内容	開催場所	人数
令和元年 7月26日	障害児長期休暇中預り 「みとよきらっと☆くらぶ」へのボランティア参加	山本町保健センター	1
7月30日			2
8月1日			3
8月2日			1
8月5日			1

（４）フードバンク事業

フードバンク事業は、寄付いただいた食料品等を、支援を必要とする方に提供している。この事業は「おもいやりネットワーク事業」や「生活福祉資金貸付事業」と調整を図り、地域で自立した生活ができるよう支援することを目的としている。

令和元年度は21件の相談及び支援を行った。なお、現在扱っている食料品は常温保存のみであるが、夏場の状況を含めた保存場所等の確保も課題となっている。

（５）職員の資質向上

コミュニティソーシャルワークについて学ぶため、香川県コミュニティソーシャルワーク実践者研修等を受講した。また、三観ブロックでは、定期的な役員会を開催した。「香川 CSW 実践研究会三観ブロック事例集」の充実を図るため、前年度に引き続き事例を募集した。今後の福祉課題への対応の参考とし、関係者とのネットワーク構築や社会資源について考えるための資料として会員等にこの事例集を配布した。

<県全体での研修会等>

開催日	研修内容	受講人数
令和元年 6月22日	コミュニティソーシャルワーク基礎研修会 講義「多様な価値観や視点を持つ地域福祉の実践」 講師 桜美林大学大学院老年学研究科 教授 中谷陽明氏 ワールドカフェ	2
9月18日 ～19日	コミュニティソーシャルワーク（CSW）実践者養成研修 実践報告 討論「高松市における実践事例からみる、コミュニティソーシャルワークの視点と展開の意義」 ワークショップⅠ「CSWの観点による個別アセスメント」	1

	ワークショップⅡ「CSW視点による地域アセスメント①」 ワークショップⅢ「CSW視点による地域アセスメント②」 ワークショップⅣ「CSW実践のプランニング①」 ワークショップⅤ「CSW実践のプランニング②」 講義Ⅱ「コミュニティーソーシャルワークの展開に基づく 支え合い活動の仕組みづくりを考える」	
12月10日	CSW実践者養成研修受講者勉強会 講義「コミュニティーソーシャルワークの基礎」 グループコンサルテーション 振り返り・スキルアップ研修に向けて	1
令和2年 2月14日	CSW実践者スキルアップ研修 講義「これからの寄り添い型・伴走型の相談支援の在り方 を考える」 グループコンサルテーション ロールプレイ	1
地域福祉（CSW）実践者研修修了者 通算 12 人		